



全国家庭科教育協会(ZKK)

Japan Association of Home Economics Teachers



全国家庭科教育協会 (ZKK) 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-20-6 家庭クラブ会館 2 階

TEL: 03-3370-4042 FAX: 03-3370-4070

Email: zenkokukateika-zkk@zenkokukateika-zkk.org

HP: <https://www.zenkokukateika-zkk.org/>

会長あいさつ

全国家庭科教育協会(略称 ZKK)は、1949年9月に起きた小学校家庭科存置問題に家庭科の先生方が決起し、1950年4月1日に家庭科教育推進のための小・中・高・大学の家庭科教員の全国組織として結成されて以来、家庭科教育の充実振興を目的として、「ZKK 機関誌 家庭科」の年5回発行、研究大会や研修会の開催、研究調査の実施などの活動をしております。

2024年12月25日には文部科学大臣から中央教育審議会に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問され、子供たちが社会で活躍する2040年代を展望した初等中等教育の在り方が検討されています。中学校技術・家庭科が、「情報・技術科」(仮称)と家庭科に分離するなど、大きな改訂が予想されており、家庭科教育のねらいを見失わないことが重要です。

ZKKでは、今後の社会の急激な変化にも主体的に対応できる子供たちを育てるための授業改善に役立つ情報提供とともに授業研究を深めたいと考えており、令和9年度第77回研究大会からは、会員の先生方の実践研究発表者を公募するなど、一層、家庭科教育の充実振興を目指しています。

全国家庭科教育協会 会長 河野 公子

協会概要

名 称： 全国家庭科教育協会

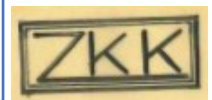
略 称： ZKK 計量カップ・スプーンに刻印するため「全・家・協」の頭文字から
昭和26(1951)年7月決定

英語表記：Japan Association of Home Economics Teachers
令和元(2019)年11月決定

設立年月日：昭和25(1950)年4月1日

役 員： 会長 河野 公子
副会長 石井 克枝
理事長 阿部 睦子
顧問 筒井 恭子 市毛 祐子
理事(各都道府県1名以上) 常任理事25名 監事2名

昭和28(1953)年5月18日
商標登録されたマーク



機 関： 総会(年1回)、理事会(年1回)、企画運営委員会(年8回)、常任理事会(年8回)

事務局： 本協会事務を処理する
事務局長 浅井 直美

全国家庭科教育協会 主な事業

ZKK 機関誌家庭科の発行 年間5回

テーマ関連3本 授業実践事例3本
年間シリーズ記事1本

- ・常任理事会編集部の会議でその時の家庭科教育の参考になるテーマを設定し、執筆者を選定・依頼しています。授業実践事例は、会員から募集するとともに全国の指導主事の先生方のご推薦等により執筆者を決めています。



メールマガジンの配信 (希望者)

- ・本協会主催の研究大会・研修会のお知らせや家庭科教育関連団体、賛助会様からの情報を配信します。即時の情報配信を心がけています。

研究大会 (講演・研究発表・校種別研修会) 8月上旬

- ・家庭科教育及び教育一般について、著名な講師による講演会を行います。
- ・2年間の研究の成果を発表していただきます。令和9年度研究大会から研究発表者を公募制にしました。研究集録を作成し、参加申込者に配布しています。文部科学省の教科調査官お二人に講評・ご指導をいただきます。
- ・小・中学校と高等学校に分かれて、研修内容を設定して講師をお招きし、研修会を行います。グループワークを入れてより効果的な研修会となるようにしています。



夏期研修会 (実技研修会) 8月上中旬

- ・衣生活及び食生活の研修会です。被服教材作りや調理実習を行うように企画しています。

春期研修会 3月下旬

- ・その年のトピックス的な内容を取り入れた研修会を企画しています。

家庭科教育に関する研究調査

- ・常任理事会研究調査部の会議で調査内容を検討、会員の皆様の調査協力を得て、2年に1回程度の研究調査報告及び冊子の作成を行っています。

出版物頒布

- ・本協会で購入した機関誌、研究集録、研究調査報告書、ZKK 機関誌「家庭科」アーカイブ、クッキングブック等を頒布しております。申込・詳細はホームページまで。

令和7年度 全国家庭科教育協会 春期研修会のご案内

日時: 令和8年3月27日(金) 10:10~16:00
場所: 家庭クラブ会館2階ホール
オンライン: Zoom ハイフレックス型開催

テーマ: PBL型家庭科で進める住生活学習
講師: 元 帝京大学 教授 勝田映子先生

勝田先生より
家庭生活の多様化を受け、「日常生活の中から問題を見いだして課題を設定」することが年々難しくなっている。そこでモデル家族のストーリーから問題を発見し、グループでの主体的・対話的な活動により問題解決を図るPBL型家庭科を考案した。学習者の家庭内情に関与しないので住生活学習にも導入しやすい。今回は、中でも準備の手間も用具も少なくて済む「オンライン型」方式で学手法を紹介したい。
(研修会の予定)
午前: 講演「PBL型家庭科で進める住生活学習」 午後: グループワーク 発表・共有

持ち物: ご自身使用中の教科書 筆記用具 昼食・飲み物
参加費: 会 員 会場参加 2,000円 オンライン参加 1,000円
未 会 員 会場参加 3,000円 オンライン参加 1,500円
学 生 会場参加 1,000円 オンライン参加 500円

令和7年度春期研修会 案内

創立70周年記念 機関誌「家庭科」アーカイブ

創刊号~平成30年度(1989年1号~2018年12号)

COOKING CARDS

見て楽しい 読んで美味しい! 料理が楽しくなる、保存版のレシピ集!!

調理実習に最適!!
使いやすいカード式
カード入れ用クリアケース付
(別売)破紙用動画DVD

そのほか
読者のポイント
専門用語解説など
お役立ち情報満載!!

500円(税別)

入会のご案内

*全国家庭科教育協会に入会して、全国の家庭科の先生方とともに学びませんか？

正会員：小・中・高・大学の家庭科教員、家庭科担当指導主事並びに家庭科教育に理解・関心のある方

学生会員：大学等に在籍する家庭科教員を目指すもの又は家庭科教育に関心のある方

賛助会員：本協会の目的に賛同し、事業を援助する個人又は企業（団体）
入会申請後、役員会にて承認する。

○正会員・学生会員の特典○

1. ZKK 機関誌家庭科の受け取り（年間 5 回）
2. 研究大会・研修会へ会員価格での参加
3. 研究調査報告書冊子の受け取り（2 年に 1 冊程度）
4. メールマガジンの受信（希望者）
5. ZKK 機関誌家庭科「授業実践事例」への自推投稿
6. 研究大会研究発表者への応募

○賛助会員の特典○（上記以外）

1. 本協会 HP 賛助会サイトにリンク先やお知らせの掲載（無料）
2. 本協会メールマガジンでの情報配信（無料）
3. 研究大会・研修会時の資料配布・動画配信（無料）
4. 研究大会（対面のみ）時のブース設営（有料）
5. ZKK 機関誌家庭科発送時のチラシ等の封入（有料）

【年会費】 年度 4 月 1 日～3 月 31 日

正会員	6,000 円
学生会員	3,000 円
賛助会員 個人	10,000 円
賛助会員 企業（団体）	40,000 円以上

*学校予算から「会誌購読料」としての支出をしている方も多くいらっしゃいます。
学校事務室にご相談いただき、本協会事務局までお問合せください。必要書類等を送付いたします。

【申込み方法】

別紙入会申込書にご記入の上、メール添付又は FAX 等で事務局までお送りください。
その後、年会費を以下の金融機関にお振込みください。

郵便振込	00170-3-151903	全国家庭科教育協会
銀行振込	ゆうちょ銀行	〇一九店 当座 151903
	三井住友銀行	新宿通支店 普通 0960360 全国家庭科教育協会